



人生80年
生きがい
みつけていますか？



よう
きなさったね

駅前柄澤律子さん

平成三年六月に横浜市から、主人の故郷であるこの、和島村に親子三人で越して来ました。私は、子供の頃から田舎があったらいいなと、思っていました。何度か遊びにきていたここで暮らすとは考えていませんでした。

横浜では、社宅に住んでいたのですが、同じくらいの年の子供が大勢いました。引越しがきまり、子供が少なくと云われてきたので、とても心配でしたが、その心配も今はなくなり友達とのびのび楽しく遊んでいます。それと、ここでは車が足がわりになつていたので、一家に一台ではなく、一人一台の生活には困ります。又、あまり車の運転がしやうすでない私には、雪が心配でもありました。

今まで一人で子供を乗せて運転

などしたことがなかった私も、今は足がわりに子供を乗せて買物にかけます。(まだまだたよりないですけど)今年、雪が少なそうデホツとしています。

この緑の多い和島村にも子供たちが、めいっぱい遊べる自然をいかしたおおきな公園のようなものが、あったらいいと思います。もちろん車でいっても大丈夫な、おおきな駐車場もそばに付けて、こちらの生活に慣れるよう、もつと和島村のことを皆さんから教えてもらいたいと思っています。

所得税の確定申告と村・
県民税の申告期限は
3月16日まで!!

人口の動き

| | |
|-----|-------------|
| | 1月末人口 |
| 人口 | 5,527人(+1) |
| 男 | 2,695人(-2) |
| 女 | 2,832人(+3) |
| 世帯数 | 1,278世帯(±0) |

()内は前月比

所得税の確定申告はお済みでしょうか。

所得税の確定申告をした人、又前年の所得が給与のみ以外の人で前年中に所得のあった方は、村・県民税の申告をしていただくことになっていきます。

先般、区長さんを通じ申告書の配布をお願いしておりますが、これらの申告にあたっては、各世帯配布済の「所得税、村・県民税の申告について」を参考にして記入下さい。

不明の点は、お気軽に役場税務課へお問い合わせ下さい。

(TEL 七四一三一一)



高齢化社会

高齢者
コミュニティーセンター

ゆきわり
荘

村の花である「雪割草」その雪割草の中で高齢者が使用する施設として「ゆきわり荘」と名付けられました。総工費は一億七、九〇〇万円、木造平屋建て、延床面積は、五五六坪です。センター内には、軽スポーツが楽しめる多目的ホール、わら工、木工、焼物などの実習活動のための創作研修室、その他休憩娯楽室、料理講習室、浴室などがあります。また今、盛んに高齢者スポーツとして各地でブームを呼んでいるゲートボール

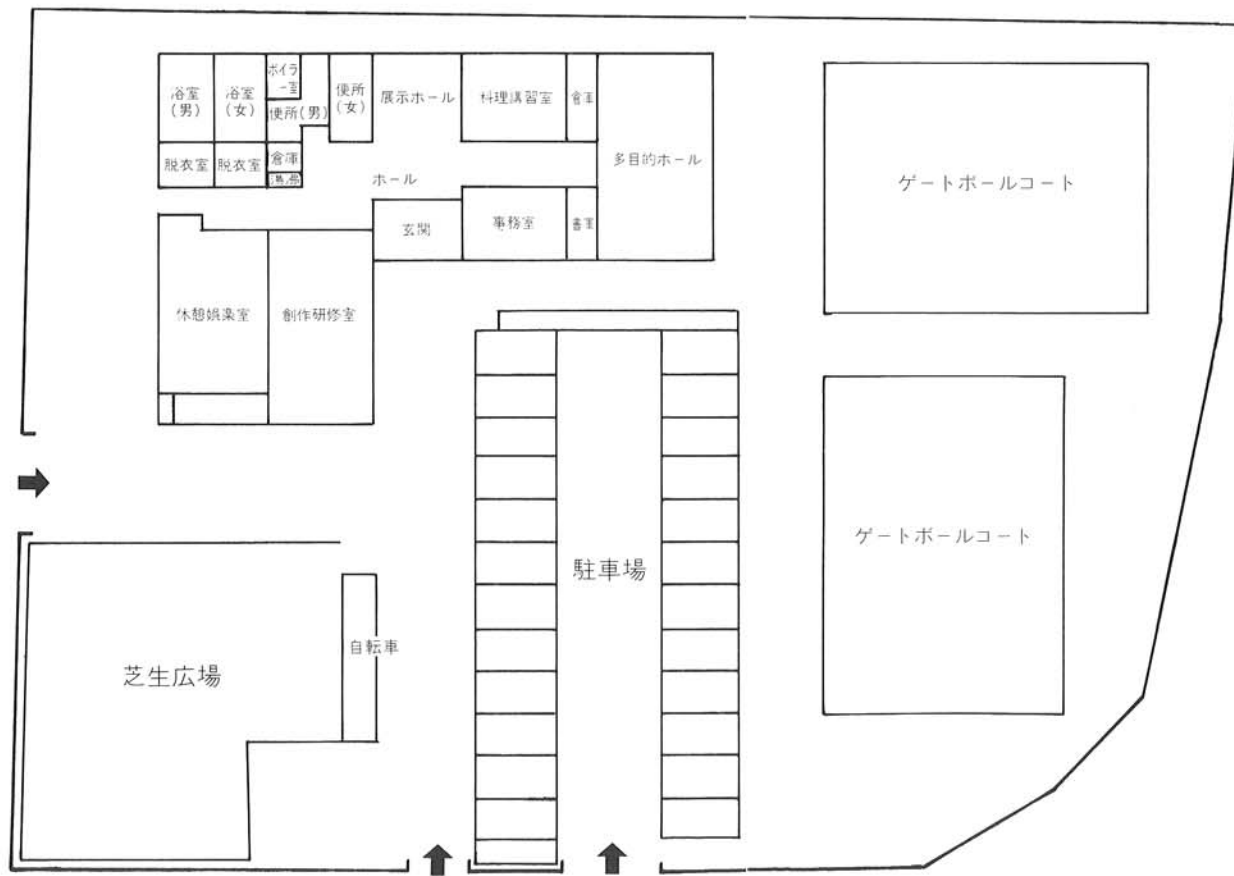


に備えて、屋外ゲートボール場が二面設けてあります。このように高齢者のさまざまな分野への社会参加の場、生きがいのある生活を求める場として期待されています。また村内には、現在一五の老人クラブがあり、約九〇〇人が所属しています。これら老人クラブなどが中心となり、創作活動に重点をおき、研修会やゲートボールを通してさまざまな活動をすすめ、老人の「幅広いふれあい」を求め活用していきたいものです。



▲工事中の「ゆきわり荘」

高齢者コミュニティセンター・ゆきわり荘棟



考えてみませんか？

和島村は、地域活性化の一つとして国の補助金（過疎地域総合センター建設事業）を受けながら、高齢者コミュニティセンターの建設をすすめてきました。この経過を簡単に説明すると、平成三年五月に国の補助金の内示を受け、平成三年九月に着工、平成四年三月末に竣工の運びとなりました。今は、この施設の概要をお伝えするとともに、今、私たちの目前で待ちかまえている「高齢化社会」についても一度考えてみませんか？

管理についてQ&A

- Q1 休みの日はいつ？
- A1 毎週月曜日
国民の祝日の翌日
12月28日～1月4日
- Q2 使用時間は？
- A2 午前9時～午後5時までです。
- Q3 施設をどのように使っていくのですか？
気軽に楽しく、くつろげる使い方は？
- A3 利用される高齢者の方々から管理運営に参加していただき、定期的な各種の講座、クラブ、サークル活動等をはじめとする団体の利用と個人でも気軽に利用いただけるよう工夫して、有効利用を図りたいと考えています。

孤独になりがちな今日

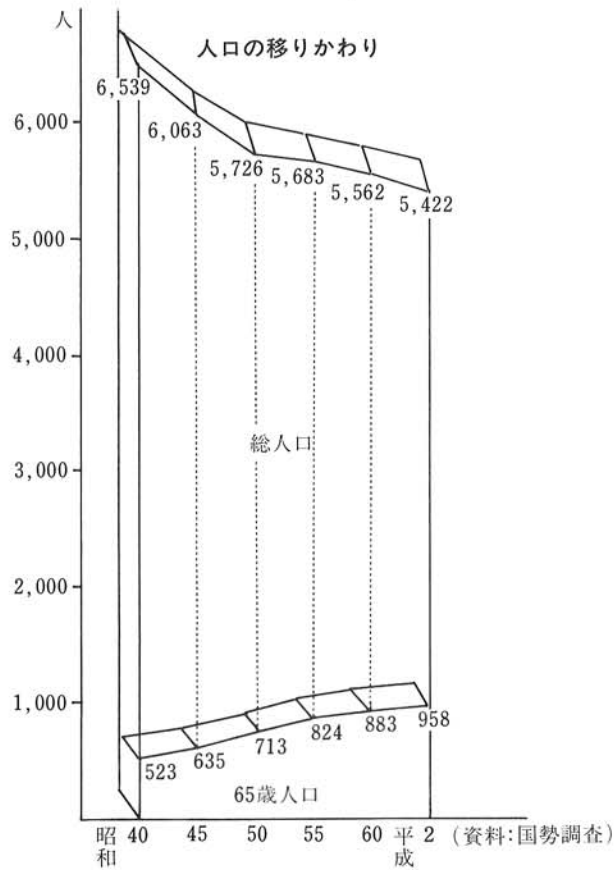
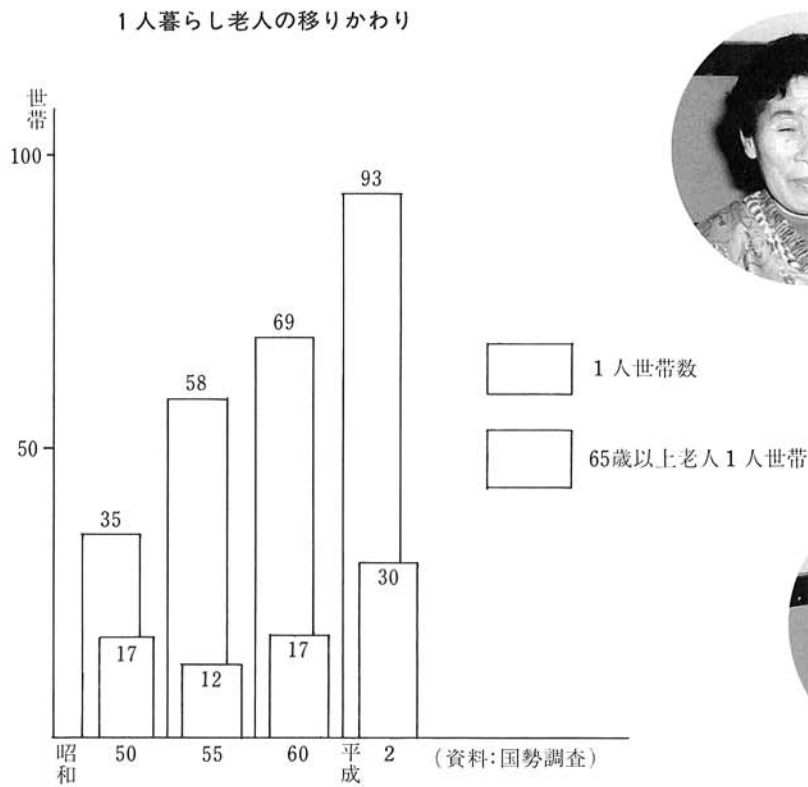
生きがい、ふれあいを求めて



例えば
こんなこと!!



毎日時間をみつけて、ゲートボールをやりここへ来るのが楽しみの一つです。ゲートボールをして、体を動かすだけでなく、待っている間に話をしていけるのも楽しいですね。コミュニティセンターにできるゲートボール場ですか？晴れた日には、外でやりたいですね。あの場所は、坂を登ることもないので行きやすいですね。
(室内ゲートボール場にて)



二十年后、三十年後の和島村。高齢化はさらにすすみ、深刻な問題となっているでしょう。
まず平成二年国勢調査の結果についてですが、村内には、一人世帯が九三世帯あります。そのうち六五歳以上の老人の一人世帯は、三〇世帯となっています。またグラフをご覧ください。総人口が減っている一方、老人人口は、増えています。一世帯あたりの人員は減っている一方、一世帯にみる六五歳以上の人員は、増えています。このような傾向は、これから一層進み、四人に一人、三人に一人が老人という時代がくるのではないのでしょうか？和島村にも高齢化社会がはじまっていることを物語っているようです。

このように一人暮らしの老人が増え、高齢化が進む今日、老人はどこかで「疎外感」や「孤独感」を持ち、またどこかでこのような社会の中で「生きがい」を求めているのではないのでしょうか？自分のこととして考えてみてください。自分が一人になり、孤独に落ち入った時、何を求めますか？「仲間がほしい」「話し相手ほしい」と考えるのではないのでしょうか？また「老後の生きがい」を感じていますか？人間は、年をとるにつれ、生きがいを失いがちです。生きがい、ふれあいを求め、「ゆきわり荘」を訪れてはいかがですか？伝統的な行事、昔からの貴重な経験を修得しようとする子供。自分の夢や好きなことにパワーある、活気にあふれた行動をする若者。高齢者だけでなく、このような子供や若者とのふれあいの場としても利用してみてもいかがですか？



▲子供たちとのふれあいの場



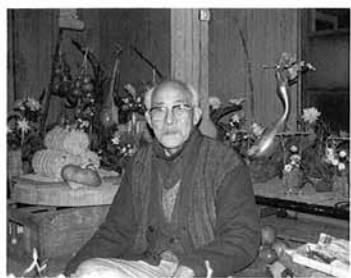
課題は山ほど

高齢化社会

高齢者コミュニティセンターは、老人の生きがい対策としてすすめられていますが、高齢者福祉の充実をめざしている和島村には、老人の生きがい対策だけではなく、寝たきり老人の介護など、老人福祉の課題は沢山残っています。どうやら今日、老後の自分について考えていかなければならない時代のような時代です。



週一回、主に冬場に集まっています。場所も近くて集まりやすいです。ゲートボール、大正琴などやることは沢山あります。が、いくつものというわけにはいきません。私達は手まりづくりに励んでいます。おやつも百円ずつだしあい、残りは積みたてています。手まりをつくるだけでなく、お茶を飲みながらいろいろな話ができるのも楽しみの一つです。
(旧中沢郷保育所にて)



家でじっとしているのでは、寿命が縮むだけです。生きがいは、自分でみつけるものです。私は、散歩がてら材料を探しに行きます。木の一つでも何かに使えないか考えます。頭だけでなく今度は、手先を使って作品をつくるのでボケません。自分でつくって楽しみ、地域の方にあげたりしています。自分で何かをみつけ、続けていくことは、体にいいことです。人間は、生涯が「勉強」だと思います。
(両高・関本 健藏さん)

“明日の水田農業の 確立、を目指して!!”

平成4年度集落別目標面積

| 集落名 | 項目 | 目標面積(a) | 集落名 | 項目 | 目標面積(a) |
|------|----|---------|------|----|---------|
| 上小島谷 | | 608 | 上 桐 | | 1,474 |
| 中小島谷 | | 388 | 三瀬ヶ谷 | | 275 |
| 下小島谷 | | 664 | 北 野 | | 648 |
| 下富岡 | | 770 | 根小屋 | | 236 |
| 若野浦 | | 171 | 荒 卷 | | 611 |
| 阿弥陀瀬 | | 261 | 新 田 | | 632 |
| 高 畑 | | 383 | 中 央 | | 351 |
| 日野浦 | | 680 | 下町上 | | 381 |
| 中 沢 | | 943 | 下町下 | | 338 |
| 梅 田 | | 373 | 川 端 | | 366 |
| 東保内 | | 928 | 道城下 | | 278 |
| 村 田 | | 434 | 法善町 | | 343 |
| 城之丘 | | 297 | 寺 町 | | 412 |
| 両 高 | | 1,260 | 小 谷 | | 129 |
| | | | 合 計 | | 14,634 |

うち他用途利用米生産予定面積 3,670 a

水田農業確立対策後期の二年目にあたる平成三年度は、転作等目標面積一七三・八ha。これに対し、実施面積一七九・五ha、達成率一〇三・二％と今年も皆さんの御協力により目標を達成する事ができました。

また団地化も、上桐・荒巻・島崎・東保内が実施し、面積も三八・八haとなりました。作物として

は、大豆、野菜等が中心で、青刈保全管理も依然に多く、転作総実施面積の二一・七％が青刈・保全管理で占められています。

平成三年産米の売渡数量は、コシヒカリ・越路早生が全体の約七二％を占め、特にコシヒカリは、年々多くなっています。又、新品種のゆきの精が前年より大幅に伸びてきました。

団地化の推進と 水田の多面的活用への推進

域に合った作物を選定し、産地の形成を図り、収益性・生産性の向上。

また、コシヒカリを中心として消費者ニーズに合った米づくりなど、村・農協・農家の皆さんが一体となり、より効率的、より実益的な営農体制づくりに取り組み、新しい時代に向けた水田農業を確立していかなければなりません。より一層の御協力と御理解をお願いします。

平成三年度 転作は目標達成!!

水田農業確立対策後期の二年目にあたる平成三年度は、転作等目標面積一七三・八ha。これに対し、実施面積一七九・五ha、達成率一〇三・二％と今年も皆さんの御協力により目標を達成する事ができました。

また団地化も、上桐・荒巻・島崎・東保内が実施し、面積も三八・八haとなりました。作物として



地域別収量及び所得

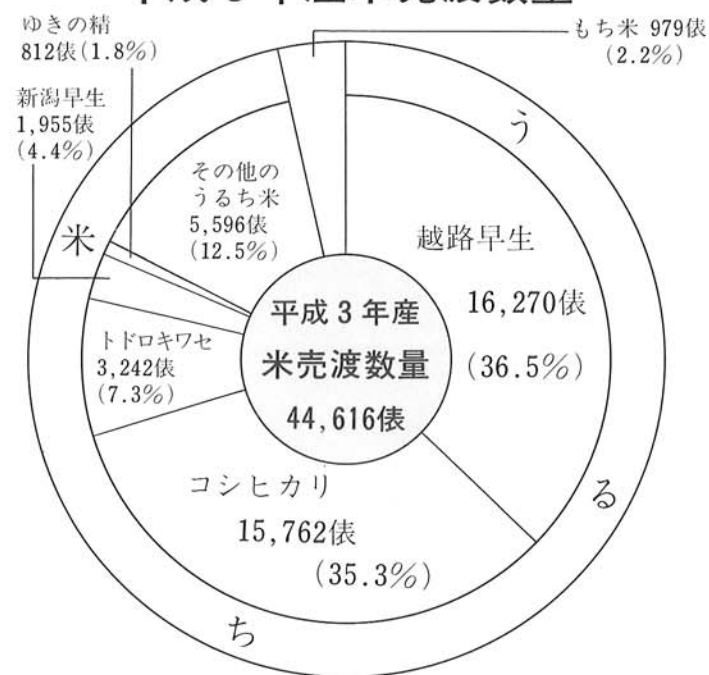
| 地域名 | 数量(kg) (10 a 当り) | 所得(円) (10 a 当り) |
|---------------------------------------|------------------|-----------------|
| 三瀬ヶ谷、高畑 | 559 | 109,884 |
| 日野浦、村田、両高、下小島谷 | 535 | 104,574 |
| 荒巻、梅田、北野、下富岡 阿弥陀瀬、島崎、上桐 若野浦、東保内 | 518 | 100,812 |
| 上小島谷、中小島谷、中沢 | 504 | 97,715 |
| 城之丘、根小屋 | 474 | 91,077 |

農業所得標準

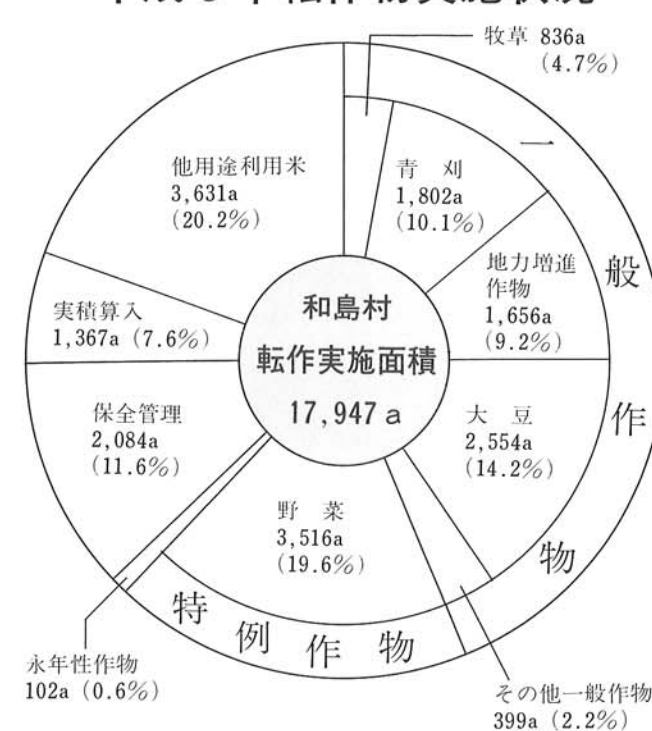
平成三年分の和島村の農業所得標準(属地により計算)が決まりましたのでお知らせいたします。

◎ 水稲十アール当り平均収量………五二〇キログラム
米価(二〇〇キログラム当り)………三二、七五九円
◎ 普通畑十アール当り
。非販売………一九、〇〇〇円
。一定面積以下(五アール)………一五、二〇〇円

平成3年産米売渡数量



平成3年転作物実施状況



タヒチ訪問の記録

桐島小学校長 藤田 剛

このたび村内の小中学生が、南半球のタヒチで二週間のホームステイを体験することになり、後半の一週間に同行する機会を得ました。

八月六日成田空港で前半随同行の役職員八子さんが帰国するのを待って、飛行前に小中学生の滞在中の状況を聞き、打合せをするため約束時間九時三十分過ぎして成田空港南ウイングに向かい、そこで落ち合う。

打合せの要点は、次のようなものであった。

- 一、子供の健康状態と子供の様子
- 二、ホームステイをしている子供との連絡先
- 三、タヒチから役場への連絡の仕方
- 四、タヒチの治安
- 五、帰国時乗券の予約
- 六、タヒチでの車の運転
- 七、土、日曜日は全ての店が休むこと。買物は前半で済ませること。

モニックさんのスピードあふれる運転でパイオ村役場に十時前に着く。早速、打合せに入る。本日はパペーテへお土産を買いに行く日だという。こうした内容の英会話はどうにか出来そうである。

それにしても英会話がもっと自由にできればと思わないではいられなかった。心暖まる心遣いを受けてタヒチの人の親切に感謝する。

十時二十分出発。運転手さんとその奥さん、そして子供と我々二人を乗せてパペーテに向かう。十二時少し前に到着する。

市街地の道路は路上駐車車の車で溢れている。我々の車は地下駐車場に入れたが、中はがらがらであった。

道路には駐車禁止の標識はあるが、違反等で取り締まるということはないのだろう。そのため有料の地下駐車場はがらがらと空いている。

買物をする前に、昼食を食堂でとることにする。メニューを渡されたが、私には何を頼んでもよかわからない。太田君はライスとスープ、そして他にも何か頼む。しばらくの間英語に手まねを加えての会話をしていると料理が運ばれる。とっさにこれは多すぎて食べきれないと思うがどうにもならない。一生懸命食べ始める。太田君はご飯を食べ始める。私も一口食べてみたが、まずくて食べ

八、蚊やハエもいるが気にしないこと。

九、子供達のスケジュールはモニックさんが責任を持っていること。

十、ほとんどの人が英語を話せること。

以上のような打合せが終わわり、八子さんと別れ、もう一人の同行者太田君を待つがなかなか見えな

い。飛行機の出発時刻が段々と近づくにつれて、太田君に事故でもあったのではないかと刻々と心配が増す。空港内の案内書で呼出をお願いすると、やがて駆けつけて見え、先は一安心。

搭乗便の手続きをすませ、荷物を預け昼食をとる。その後は税関での出国手続きをして、免税店で土産のお酒を買い込む。

飛行機は予定より十分遅れで出発する。雨のため遠くの景色が見えなくて残念だ。離陸すると、どんどん高度が増し、あつというまに雲の上に出る。上空は青空一色

である。

機内ではタヒチに着いてからのことを太田君と話し合い、心配したり深刻にもなったが時間がたつにつれ全くそれらを忘れ、段々とタヒチへの期待がわいてくる。午後三時になったばかりであるが機内食が来る。なかなかのごちそうであるがチーズだけは美味しくない。

飛行時間も十時間余となり、頭の中をタヒチの現地時間に切り換える。現地時間では六日の午前五時三十分機内食が出てくる。

どれも美味しい。

タヒチ時間の午前六時を過ぎると飛行高度はどんどん下がる。隣の席の日本人はタヒチで生活をしているという。タヒチでいろいろな所を撮影し、それをビデオにして販売するフリーのカメラマンである。

六時三十分、パペーテ郊外の国際空港に着陸。

入国手続きを済ませてからバッグをとりに行き、待合室に行く。モニックさんが歓迎のレイを持って待っていてくれた。

早朝にもかかわらず出迎えてもらい大変恐縮である。早速、南国の香の強い花で編んだレイを首から掛けてもらい挨拶をかわす。

案内所で、生まれは日本という通訳を通して話し合う。その後、モニックさんの家に向かう。途中

の街路樹は熱帯樹である。こうした光景をみただけで来てよかったと思う。八時を過ぎた頃モニックさんの家に着き、バンガローに案内される。ここで寝るのか？日本では考えられない。窓にはガラス戸のようなささぎるものがない。風通しはいまでもない。虫や蚊も出入りは自由である。

九時を過ぎたところ、青い（美しいブルー）海を背にしながら朝食のパンを食べる。コーヒは苦くて飲めるものでない。かと言ってそんなことはない。いられないので飲んでしまった。ところで周りから見かけない人達が続々と集まる。この人達が全部モニックさんの家族とは思われない。食事に集まった人は十数人におよぶ。残念ながら言葉が通じない。いろいろと聞いてみたいが開いてみようとない。太田君は周りの人達と英語で話し合っている。私も私なりに手まね足まねを入れて話に加わる。結構通じるから面白い。

その後、海岸に出てケイソウ（珊瑚の原石植物）の試料と砂を採取する。季節的には冬だろうが水は暖かい。本当に来て良かったと思う。昼食（午後二時過ぎ）は刺身を中心にした料理である。ビールとワインを飲む。ビールはヒナノという銘柄である。タヒチでつくられるオリジナルビールということである。味は日本の各社でつく

られているヤモリを見つけヤモリだヤモリだといっている。ヤモリは蚊やハエをとる益虫であることを説明する。

八月八日 熟睡できなかったのだろう。起きると頭が少しボーとしている。八時頃、モニックさんが朝食といって呼びにくる。食卓には今日も見知らぬ人が何人かいる。そのうちの一人からタヒチの観光案内書をいただく。説明はおおよそ見当がつく。

今日は九時出発である。まもなく、この前日本に来たステファニー姉妹がやってくる。ステファニーとは握手の後に頬ずけの挨拶をかわす。私自身これまで何度か頬ずけの挨拶をしてきたが、すっかり抵抗がなくなってきた。日本にいて観念的にあれこれ考えるよりもタヒチに来て生活してみるとよくわかる。私はタヒチにこれだけで素晴らしいと考えているので、本当によかった。

道路に出て待っていると、タヴァ・モアナとお父さんが車でやってくる。お互いに挨拶の後、その車で役場に向かう。ドーム村長及びマルセル村長さん（女性）、議員さんが迎えてくれる。日本にきた子供達とその親も何人か来ている。これから水族館の見学に行くという。十五分位で到着し、早速所長さんの説明を聞く。英語で説

れるビールに比較したら、好みもあろうがまずい。とは言い、実に美味しく飲むことが出来る。ワインは日本と変わらない。

実は、お酒を飲む前に、モニックさんとココナッツを割ったり、ココナッツミルクをつくって、それを飲んだりいろいろとすばらしい体験をすることができた。もつとすばらしかったことは海岸から拾ってきたココナッツを割ってそれを飲んだときの感動である。これが本当の豊かさであろう。

和島村役場に電話連絡をする前に、子供達の様子を知っておきたい。そのことをモニックさんにお話ししてホームステイ先に電話をしてもらおう。

●子供達は元気であることを伝える。●本日の予定が変わったことも伝える。明日の予定はまだ、はっきりしないことを話す。後から思ったことであるが、タヒチからよくこうした電話がつかれるものだと感心しないではいられなかった。

八月七日 まだ、暗い朝六時十五分に起きてラジオ体操。その後何枚かの写真も撮る。

八時頃、モニックさんに呼ばれゆつくりと朝食をとる。九時半にパイオ村役場のドーム村長さんを訪問するという。

次は発電所の見学である。発電所に向かう途中、スプリングラで水をやっている畑がある。人家も結構たくさんある。なんの栽培かなと思いつながら、内陸部に向かって坂道を登る。到着後、直ちに説明を聞く。大変小さな発電所である。前の広場にはオジギ草が沢山生じているが、ここでは雑草である。日本では秋になると枯れてしまうが、ここは常夏であるため枯れない多年草である。

見学後、再び役場に帰り歓迎会である。頭に草で編んだ冠をかぶせてもらう。日本の様にはまらない。通訳がいなかったため見るだけで、簡単に終わる。昼食は歓迎会の後で食べるという。箸は使わず手づかみで食べると聞く。どんな料理か楽しみである。

現地の人がいろいろな料理を籠の中から取り出している。マルセルさんがそれを説明してくれる。その時、ウエディング（結婚）という言葉が度々出てくる。太田君によると、マルセルさんは結婚式に出席するので、私達にも出席してほしいという。

料理が皿に盛られて会場に運ば

れる。ブドウ酒とビールで乾杯。モニツさんに料理の味を尋ねられる。大変美味しかった。昼食が始まってしばらくすると風が強くなり、やがて雨も降りだし雨風となる。昼食が終わると、誘われてマルセルさんの自宅を訪問する。日本の一般的な家屋より広く、モダンかつ立派である。庭のパイヤは実をたくさんつけている。小休憩の後、マルセルさんが結婚式に出席するというので一緒に出かける。

公民館のような建物に着くと、まもなく親戚の人が車でやって来る。テープで車を飾りクラクションを鳴らしながらやって来るものもある。一見して花嫁と花婿は即座にわかる。

早速、結婚式が始まる。マルセルさんが二人を前にして話しをする。私達はマルセルさんの隣に座る。周りは親戚の人達である。新郎新婦の二人はサインをする。結婚式はあつという間におわる。披露宴はどうするのだろうか。静けさが再び戻る。

私達は結婚式場を出発し、役場に向かう。役場には和島村の子供達が待っていた。これから全員でホテルに行くという。ワゴン車の後部座席に布団を積み込んで、到着したところはホテルの経営するバンガローである。応接間と寝室が二部屋（ベッド四人分）、それ

に台所とシャワー、トイレなどが備わっている。応接間のソファアは即座にベッドに早変わりできるため、そのための布団搬入であった。

夜七時、ドーム村長さんの迎えを受けて村一番のレストランに向かう。

ドーム村長さんは刺身を勤めてくれる。ビールとワインをいただきながら夕食をとる。ご飯も出てくるが日本の米よりまずい。デザートはパイヤである。子供達もそれなりにがんばっている。

九時頃ホテルに戻る。子供達は楽しそうに話し合っている。順々にシャワーを浴びて、早く寝るように指示する。

ホームステイに日本に来たときの子供の中でモアナ君が一人泊まってくれる。彼は口数こそ少ないが責任を持って来てくれている。八月九日

六時半、目がさめる。ぐっすり眠り気分は最高である。窓越しに外を見ると子供達がバンガローに向かつて一生懸命走ってくる。

八時にホテル本館へ移動して朝食である。パンにジュース、コーヒイ等いろいろ揃っている。子供達はすっかりタヒチの料理になじんだようで、美味しそうに食べている。

朝食後、悪天候のため海に行けなくなり、子供たちはホテルのプールで泳ぐことになる。プールに入ってみると水は以外に冷たいし寒い。それにつけても子供達は元気で、もぐったり、飛び込んだり活気に溢れている。その後、子供達と一緒に卓球にも興じる。子供達は皆満足そのものである。

ドーム村長さんが予定通り見えてホテルで昼食をとる。食事をしながら、タヒチの人が日本の料理を日本で食べたとき、ほんとに美味しかったのだろうか。ふと、そんなことを思った。

午後はポリネシアタヒチのビッグボス（高等弁務官）に会いに行くという。

私達はモニツさんの家に立ち寄って正装の準備にとりかかる。パイヤに行きには西周りの道路を使う。貸切りバスはトヨタのバスである。パイヤの街は何回も来ているので、物珍しさはなくなっていた。まもなくビッグボスのいる立派な建物に案内される。

ドーム村長さん自身はノーネクタイのラフな服装であるが緊張していられるようである。要するに失礼のないようにしなければならぬ。同行して来た現地の子供達はテーブルに準備されていたコーラやジュースが欲しいというので大人がそばへ行って飲ませはじめた。日本では全く考えられないことであるが、不自然さはない。

ついでに、慣れたものがある。八月十一日

昨夜は風も強かったが、よく眠った。気分爽快である。九時行動開始の予定であるが、天候の回復を待つため、しばらくの間待機する。

十一時のバスで移動することになる。まもなく日本製の大型バスがやってくる。車掌は素足で半ズボン、本当に素朴である。一時間ほど乗ったであろうか、車を降りたら歓迎である。ふんどし一つでギターを弾いている。子供も一緒に歌っている。現地語で何か話しかけてくる。案内されるままに広場に行く。まずはココナツ割、やってみるがなかなかうまくいかない。木登りがこれまたうまい。あつというまに十メートルを超えるような木に登ってココナツをとってくる。その後、ココナツの汁を飲んだり中の白い部分を食べたりして楽しく一時を過ごす。

そのうちに、ビッグボスがやって来られ挨拶をする。カメラマンは写真を撮りパチパチと何枚も写す。ビデオ操縦者は忙しくカメラをまわす。ビッグボスは日本の車、鈴鹿のサーキットなどの話をされる。これを太田君は即座に通訳してくれる。たいしたものである。ビッグボスからは日本の科学技術のすばらしさを褒めていただいた。日本に好感を持たれていることは間違いない。

その後、テーブルの飲物を一緒にいただいたき、口にする。このときばかりはジュースがことさら美味しかった。我を取り戻す。

会見の時間は十五分位ではなかったらうか。私は国際交流の責任をはたせたらうか。子供達にはどんな印象が残ったのであろうか。現地の人はどんな気持ちで私達を迎えているのだろうか。などを考えた。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

そのうちに、ビッグボスがやって来られ挨拶をする。カメラマンは写真を撮りパチパチと何枚も写す。ビデオ操縦者は忙しくカメラをまわす。

ビッグボスは日本の車、鈴鹿のサーキットなどの話をされる。これを太田君は即座に通訳してくれる。たいしたものである。

ビッグボスからは日本の科学技術のすばらしさを褒めていただいた。日本に好感を持たれていることは間違いない。

その後、テーブルの飲物を一緒にいただいたき、口にする。このときばかりはジュースがことさら美味しかった。我を取り戻す。

会見の時間は十五分位ではなかったらうか。私は国際交流の責任をはたせたらうか。子供達にはどんな印象が残ったのであろうか。現地の人はどんな気持ちで私達を迎えているのだろうか。などを考えた。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

会見の後、中庭へ案内される。湧き水が出ている。昔、風呂として使っていたという。散策後、バスで繁華街に向かう。ドーム村長さんは子供達に何かを買って与えている。ワゴン車の中で作っているもので、加熱した鉄板の上にとろろした麦粉状のものを薄く広げる。焼けた段階でチョコレート状のものをたらす。それをまるめて筒状の紙に入れて出来上がり。

子供達の様子を見ているとはじめてではないようである。次はいよいよ買物である。これまでも土産を買って求めるチャンスはあったようであるが、全くないしほとんど買っていない子供がいるようだ。買うことができる機会に買いたくないという、子供達は納得していろいろ買始める。店をでるとき店員が私達に木製のナイフをサーピスにくれる。先日の買物のときもいただいた。タヒチの人柄であらう。

帰りのバスの中はぎやかである。太田君と男子児童が買いためた楽器を使って現地の青年と一緒に演奏を始める。これが大変好評で、拍手喝采である。現地の青年はパイヤに向かう時も一緒に歌いながら演奏してくれた。

八時からの夕食には和島村にいられた新聞記者（デスキュール）も同席する。歩いて数分のレストランはフランス人の経営という。一つの料理を食べ終わると別の料理が出てくる。デスキュール夫婦とモニツさん、私達の五人である。英語での会話が成り立つので面白い。和島村の人には大変お世話になったと具体的に名前をあげて、その人の特徴などもいって笑わせてくれた。自分の子供も来年は日本にやりたいと話される。

いろいろな料理が出てくるにつれてワインもどんどん進む。その

といている。搭乗口を出るときは別れを惜しむあまり、全員涙で濡れていた。

時間にゆとりがあることもあって、免税店で買物をする。子供達は主体的に行動するようになっていく。確かな進歩である。ほぼ予定どおり飛行機は離陸する。

一眠りしてから子供達のところへ行って見ると皆ぐっすり眠っている。昼間の疲れが出たのであろう。

まさに、百聞は一見に如かずである。火山島とサンゴ礁から出来ているポリネシアの島々である。治安がよく楽天的でおおらかに暮らす人達である。

最後の楽園といわれるようにこの島々の自然、風土、人情に接すれば即座にうなずける。今の私達（日本）に必要で、学ぶべきことはこうしたことであらう。

まさに、百聞は一見に如かずである。火山島とサンゴ礁から出来ているポリネシアの島々である。治安がよく楽天的でおおらかに暮らす人達である。

最後の楽園といわれるようにこの島々の自然、風土、人情に接すれば即座にうなずける。今の私達（日本）に必要で、学ぶべきことはこうしたことであらう。

まさに、百聞は一見に如かずである。火山島とサンゴ礁から出来ているポリネシアの島々である。治安がよく楽天的でおおらかに暮らす人達である。

最後の楽園といわれるようにこの島々の自然、風土、人情に接すれば即座にうなずける。今の私達（日本）に必要で、学ぶべきことはこうしたことであらう。

まさに、百聞は一見に如かずである。火山島とサンゴ礁から出来ているポリネシアの島々である。治安がよく楽天的でおおらかに暮らす人達である。

最後の楽園といわれるようにこの島々の自然、風土、人情に接すれば即座にうなずける。今の私達（日本）に必要で、学ぶべきことはこうしたことであらう。

まさに、百聞は一見に如かずである。火山島とサンゴ礁から出来ているポリネシアの島々である。治安がよく楽天的でおおらかに暮らす人達である。

最後の楽園といわれるようにこの島々の自然、風土、人情に接すれば即座にうなずける。今の私達（日本）に必要で、学ぶべきことはこうしたことであらう。

まさに、百聞は一見に如かずである。火山島とサンゴ礁から出来ているポリネシアの島々である。治安がよく楽天的でおおらかに暮らす人達である。

最後の楽園といわれるようにこの島々の自然、風土、人情に接すれば即座にうなずける。今の私達（日本）に必要で、学ぶべきことはこうしたことであらう。



豆まき

2月3日、保育所、幼稚園では節分の豆まきが行われました。

豆まきはそれぞれの遊戯室で行われ、子供たちは紙で鬼たいじの棒や豆を入れる箱を用意して準備万端です。

ズーン、ズーン…おや？何やら怪しげな音が…部屋が暗くなったぞ。おにがきたぞー。

「おには～外」「ふくは～内」みんなで赤おに、青おに、黒おにを追いはらいました。と同じにこの日、子供たちは心の中のおにも追いはらったようでした。



おだんごまき

2月15日、根小屋の繁慶寺では、お釈迦様の命日にちなんで「おだんごまき」が行われました。

檀家や近所の方から手伝いをもらい、枲鉢で集めた米でおだんごは用意されました。12時30分過ぎ、本堂には沢山の方が集まり、赤、白、緑のおだんごがまかれました。子供もお年よりもこの沢山のおだんごをひろっていました。



おらがむらの出来事

村民スキーのつどい 盛況のうちに終わる



一月二十六日(日)公民館主催の村民スキーのつどいが、快晴に恵まれた舞子高原楽園スキー場で行われました。
当日は役員、参加者総勢六十名が澄みわたった青空の下、真白なゲレンデに思い思いのシユプールを描いておりました。
又初心者にはスキークラブ員がご指導下さり、一人でも滑れるようになり、全員楽しい一日を過ごしてきました。

良寛の里に多くの著名の方々が 来訪されています。

二月四日には、岩室温泉「綿屋」さんに投宿され執筆に多忙を極められておられます飯田利行先生が、その合い間をぬつてご来館いただきました。
飯田先生は漢文学の権威として広く全国に知られ、また良寛にも造詣が深く、多くの著書があります。
この日は村長が案内をし、大矢家に残されていた良寛遺墨に深く感銘を受けられ、更なるご活躍を誓われたご様子でした。



良寛の里オープン一周年記念 特別展のお知らせ

皆様のご理解とご協力によって昨年四月にオープンいたしました良寛の里も、オープン以来、約九ヶ月で年間目標の八万人のお客様を迎えることができました。お客様一様に、村の風土やそこに住む人達の暖かい心にふれ、満足の言葉をいただいております。
良寛の里では、更にお客様に喜んでいただくために、四月のオープン一周年記念に特別展を行う予定で準備をすすめております。
良寛の里完成の記念に、県内外の良寛景慕の方々からご揮毫いただきましたものを展示します。

また、年間を通して茶室利用の充実をはじめ、数々の事業を行うこととしておりますので皆様の積極的なご参加をお待ちしております。
特別展開連の事業は次のとおりです。
「良寛の里美術館揮毫者展」
期間／平成四年四月一日から同六月三十日まで
場所／良寛の里美術館
全国良寛会総会協賛「野立て」
日時／平成四年五月十日
午前九時から午後二時
場所／良寛の里広場



●お詫びと訂正
先月号九ページ「良寛の里書き初め大会」の入賞者のうち六年生若山真紀さんは「真純」の間違ひでした。お詫びして訂正します。

良寛歌集
花、シリーズ ②③

この園の 柳のもとに
まろゝして
遊ぶ春日は
楽しみをつめ

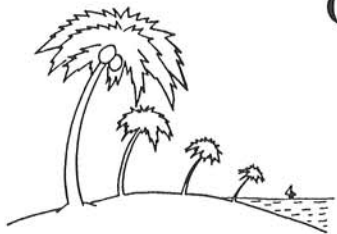
柳は、ヤナギ科の植物の総称です。ヤナギ科の植物は、雌雄異株という特徴をもった珍しい植物です。
良寛さまは、庭に植えられたシタレヤナギの若葉が風に揺れる様子からのどかな春日を詠んでいます。今日でも街路樹や水辺の風致樹として広く栽培され、風情をかもしだしています。



村長室の黒板から

- | | | |
|-----------------------------------------|----------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 一月二十四日 午前農所得協 議会総会 午後三古南蒲治山林道 協議会 | 和島村長 山本場 三月十日 午前長岡地区農業所得 協議会 午後農業所得標準説明会 二月三日 新年度予算査定 | 十二日 圃場整備関係団体会議 十三日 圃場整備の件について 与板土木、中越農政、長岡農地を 訪問協議打合 |
| 二十五日 良寛書き初め展表彰 式 管保旅行会役員会 | 四月 良寛研究家飯田利行先生 良寛の里御来観御案内 夜先生を 囲む会に出席岩室村へ | 十四日 美術館の件で上京 十五日 両農協組合長来室され 農協合併について報告協力要請あり |
| 二十六日 墓地公園地鎮祭 | 五日 青少年問題協議会 | 十七日 国保連理事會 |
| 二十七日 三古福祉事務所へ | 六日 長岡地区農団との最終協 議 | 十八日 東京県人会から和島村 取材の為来村される |
| 二十八日 村農業委員会であ い | 七日 村農団との協議 | 十九日 長岡伝染病組合議 會 |
| 二十九日 味方村議会良寛の里 へ視察され挨拶 総合計画審議 | 十日 消防奇場組合議 まつ 寺泊老人ホーム議 | |

あなたからのrata
(たより)



我が家の献立がワンパターンになつてきたかなと思ひ始めたある日、誘われて村の栄養教室を受講した。子育て真最中の若妻から三十歳先輩のベテランお母さん迄、村内から集まった女性達が、年齢差を飛び越えて和やかな雰囲気の中で学び合っている。

栄養教室で得た知識が、我が家の食卓に変化をもたらしたことは言うまでもない。安全で健康的な食事作りを心がけるようになったこと、家族の健康に対する意識が高まったことなど影響は大きい。また、食事作りを通して、家族の健康は台所をあずかる女性の力にかかるところが大きいということもあらためて感じさせられた。受講してうれしく思っているこ

豊かな明日のために

山口八千代(両高)

とは、この講座が中広い世代の人達といろいろな意味で刺激し合えるコミュニケーションの場であつたこと。若い人からは新鮮な感覚とアイデアを、先輩お母さんからは、円熟した料理の伝承に人生の味わいなども添えられて、教わることは多い。日頃、集落内でも交流するのは同世代の人達に片寄りがちであるが、こうして中広い年代層の中で情報交換してみるとあらためて、自分と違う視点や思考を持つ人達、とりわけ、人生の企画に期待したい。



ふるやの昔 ②

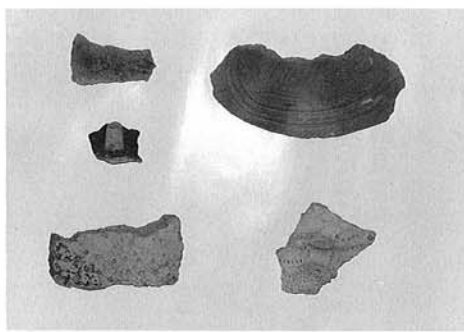
大地に根づく

日本で最初に焼き物としての容器―土器―が作られたのは、今から一万二千年前に遡ると言われております。この、土器の発明から以降、一万年近い長い期間を縄文時代と呼んでおります。

わたし達が従来持っていた縄文時代のイメージは、極めて原始的な社会で、人々は毛皮を身にまとい、獸を追いかけて常に山野を放浪していたように思ひがちです。しかし、近年それが誤りであり、実際は、高度な技術を持つ豊かな社会であったことが明らかになりつつあります。特に、日本の伝統工芸を代表する漆器の技術は、縄文時代にほぼ確立しており、出土品に見られる高度なテクニクには、まったく驚かされます。この他、現在まで伝えられている要素としては、トチの実のアク抜きなど「食」に関わる技術や、「衣」の素材となる「アンギン」織りなどが知られており、縄文時代はまさに、日本文化の原点であったと言えると思ひます。

次に、縄文時代を支えた生活基盤について考えてみたいと思ひます。縄文人は先程述べましたように、狩猟民としての印象を強くいだきがちですが、実際はドングリや山野草などの植物食に比重を置

いた食生活であったようです。日本には四季の変化があり、季節ごとに異なる山の幸に巡まっています。縄文人は、それらの食用植物の実りの時期を熟知し、実に効果的に食料獲得をおこなっていたことが確かめられており、今では忘れられた、季節感あふれる大地に根ざした時代であったと言えます。なだらかな丘に囲まれた和島村は、縄文の人々にとってたいへん暮らしやすかった土地であったように、現在までに14ヶ所の遺跡が知られております。残念ながら発掘により、科学的なメスが入れられた遺跡はなく、生活の実体については不明な部分が多いのですが、小島谷の十二遺跡などから出土している朱漆が塗られた土器などに、その高度な文化の一端を伺い知ることが出来ます。



▲縄文時代の土器

村史の窓 (第三十七号)

正学館の始り(上桐)
明治のはじめに上桐村の青年達が農閑期を利用して夜学を始め、それがやがて「正学館」として公認されていった記録が柄沢博士所蔵の文書の中にあります。

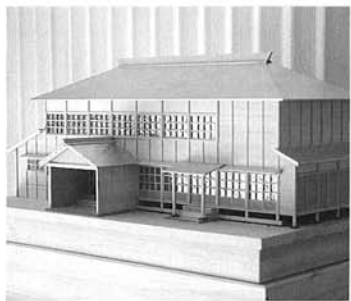
一、正学館の沿革
明治七・八年ノ頃ヨリ毎年冬期ニ至リ、青年輩三三五五打集リ、処々の座敷ノ一隅及二階等ヲ借り受ケ夜学ヲ開キアリシニ、其ノ後十三年ノ頃ヨリ学校ヲ借り受ケ夜学ヲ開キタリ。五・六人多キモ十五・六人ヲ過ギズ、依テ明治十九年冬、始メテ大字内ノ夜学団体全部ヲ糾合シ学校ニ集メ、夜学ヲ開催スルノ氣運ニ至レリ。

学科ハ修身、作文、読書、習字、算術ノ五科目ニ分チ、大イニ学風ヲ改メタリ、後、今ニ至ル迄学科ヲ増設セリ。正学館ノ名称ハ当時国学者栗田寛大人ノ説「和合協力シテ學術ヲ研究スル、之ヲ天朝正学ト云フ」ニ由ル。

一、事業
単ニ夜学修養スルニ留ラズ、明治二十七八年、同三十七八年戦役ノ時ハ出征者ヲ慰籍シ、在郷者ノ勇氣ヲ鼓吹シ、遺家族ヲ慰問シ或ハ業務ヲ援助シ、恤兵ニ献品

シ、平素ニ在リテハ勤儉蓄積ノ奨励ヲナス。明治四十年ヨリ桐原尚齒会ナルモノヲ設ケ、七十歳以上ノ老者ヲ一堂ニ招キ茶菓ヲ饗シ、今昔ノ話、歴史ヲ拝聴ス、了ッテ紀念撮影ヲナシ神社・学校・寺ニ掲ゲテ公衆ヲシテ養老ノ念ヲ惹起セシム、本年ヨリ農事実習科ヲ設ケ株数、肥料、種類等ノ試作ニツツム。(後略)

このように正学館は夜学するだけではなく、社会事業にも取り組む青年団の働きもしていました。維持については柄沢家の篤志によるとし、教授者への報酬、石油、筆墨紙などの消耗品に充てられました。青年の学習意欲と篤志家によって「正学館」は発展したといえます。



正学館のあった桐原小学校(模型)

訂正
村史の窓三十二号の島田村役場の位置 梅田宇糸口 ↓ 梅田宇柿ノ木田 議員名の阿部栄太郎 ↓ 阿部吉太郎。お詫びして訂正します。

ホームヘルパーの登録を!!

ホームヘルパーの登録を受けています。ホームヘルパーは寝たきり老人やひとり暮らし、障害などがあって、通常の日常生活を営むのに支障のある老人、心身障害者、日中一人になる要介護者等の家庭に対して派遣され、家事、介護、相談、助言等日常生活を援助することが職務です。

ホームヘルパー派遣申請を 受け付けています

寝たきり老人や一人暮らし、障害、日中一人になる要介護者等の日常生活を援助するためのホームヘルパー派遣申請を受けています。
※ ホームヘルパーの勤務態勢や、派遣に対する相談等詳しいことは、住民課にお尋ね下さい。

三月中の国民年金

◎60歳になる人
昭和七年三月二日から昭和七年四月一日生まれの人は、掛け金を掛け終りました。
老齢基礎年金の繰り上げ請求を希望する人は、請求できます。
◎60歳以上65歳未満の人
受給資格期間を満たすことができない人、または過去に保険料の未納や免除があるため、掛け金をして年金額を増やしたい人は、任意加入することができます。
役場の窓口へ届け出て下さい。
◎現況届を出す人
今月生まれの受給者は、現況届のハガキが郵送されてきたら、忘れずに早めに証明を受け、切手をはって自分で出しましょう。
期限まで提出しない場合は、年金が一時差し止めになります。
ハガキを紛失した時は、国民年金係に申し出て下さい。



おわりに

私たちの身近な税金について、少しでも皆さんの役に立てば平成三年四月号より連載してまいりました。

税金が私たちの社会でどのような役割を持っているのか、またどのように集められ、それが私たちの生活のためにどのように使われているのかおわかりになったと思います。

税金はただ取られるものではなく、私たちが豊かで安定した暮らしを送れるよう、社会の共通の費用として役立っていることがわかってもらえたと思います。

納税は、私たちの社会をよりよくするために、国民が等しく負わねばならない大切な義務であります。税金がどのように使われ、役立

固定資産課税

台帳の縦覧について

平成四年度の固定資産(土地、家屋、償却資産)課税台帳を地方税法第四一五条の規定により左記のとおりとします。
縦覧希望の方は期間内に認印持参のうえ役場税務課へおいで下さい。

記

Table with columns: 期間 (平成四年三月二日(月)から平成四年三月二十三日(月)まで), 時間 (午前八時三十分から午後五時まで), 場所 (和島村役場、税務課)



気軽に利用ください!

三月の心配ごと相談

- 日時: 三日、十日、十七日、二十四日、三十一日 (毎週火曜日) 午前九時から正午まで。
場所: 福祉センター老人室
内容: 生活相談・医療相談・家事相談・児童相談・年金相談・身障相談・職業相談・その他など。
その他: 相談内容は秘密で費用は無料です。

3月の保健衛生行事

Table with columns: 月日曜, 内容, 対象, 時間, 場所. Includes events like 栄養教室, リハビリ, 乳児相談, 3歳児検診, 療育相談, リハビリ.

今月の納税

- ※ 国民健康保険料..... 3月分
※ 国民年金保険料..... 3月分
※ 幼稚園保育料..... 3月分
※ 保育所保育料..... 3月分
※ 水道使用料..... 3月分

交通災害共済加入のすすめ

この交通災害共済制度は、県内の市町村住民の皆様が交通事故にあわれた場合に見舞金を給付する事業として、県内一二の全市町村が共同で運営しています。このところ、交通事故が増えています。万一の事故にそなえてご家族の皆様で加入されるようおすすめします。

交通災害共済会員募集!!

〈掛金わずか 350円→見舞金最高 100万円〉

★家族そろって加入しましょう — お申込みは3月31日までに —

Table with columns: 等級, 災害の程度, 金額. Lists compensation levels from 1st to 9th grade based on disaster severity.

スポーツ安全保険に加入しましょう

この保険は、5人以上のスポーツ、文化、奉仕活動等を行う団体を対象として、往復途中も含めた団体活動中の傷害事故および賠償責任を負う事故を補償するものです。

また、心臓マヒなどの突然死等に対し見舞金が支払われます。保険期間は平成4年4月1日から平成5年3月31日までで、途中加入もできます。

加入区分・掛金・補償額

| 区分 | 対象となる団体 | 掛金 (1人年額) | 傷害保険(保険金額) | | | 賠償責任 保険 (補償 限度額) | 共済 見舞金 |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|---------------|-----------------|-----------------|---------------------------------|-------------------|
| | | | 死亡 後遺障害 | 入院 | 通院 | | |
| I | A ・中学生以下の子供の団体(運営上必要な指導者や父兄等も同じ掛金で一緒に加入できます。 ・高校生以上の文化活動、社会奉仕活動の団体 | 360円 | 最高 1,400万円 | 1日につき 4,000円 | 1日につき 1,300円 | 対人賠償 1億円 (自己負担 1,000円) | 突然死および日射病熱射病による死亡 |
| | B ・老人クラブ団体 ・団体が60歳以上の人により構成された団体 | 500円 | 400万円 | 1,800円 | 800円 | 対物賠償 | 50万円 |
| | C ・高校生以上の地域スポーツクラブ、学校、会社等のスポーツ同好会 ・エアロビクス等の健康美容体操クラブ ・スイミング・テニス等の会員制クラブ ・一定の資格のある指導者の団体 | 1,100円 | 1,400万円 | 4,000円 | 1,300円 | 500万円 (自己負担 1,000円) | |

※詳細については教育委員会にお問合せ下さい。
74-3111 (内線-52番)



新潟県の最低賃金

| 最低賃金の名称 | 最低賃金額 | | 適用の範囲 | 効力発生年月日 |
|---------|-------|--------|--------------------------|---------|
| | 時間額 | 日額 | | |
| 新潟県最低賃金 | 523円 | 4,184円 | 県内すべての事業場で働く、すべての労働者に適用。 | 3.10.1 |

※その他業種により多少金額が異なります。※お問い合わせは……新潟労働基準局・労働基準監督署へ

嘱託員の募集について

与板土木事務所では、次のとおり嘱託員を募集しております。

- 一、職 種 行政嘱託員
 - 二、募 集 人 員 二名
 - 三、期 間 平成四年四月から平成八年三月まで五年間
 - 四、勤 務 時 間 一週三三時間 毎週月曜日から木曜日七時間、金曜日五時間
 - 五、給 与 月額(平成三年度)一四三、〇〇〇円(毎年昇給あり)
 - 六、年 齢 五八歳までの方
 - 七、その他 社会保険あり
- 御希望及びお問い合わせの方は、与板土木事務所(担当小島) ☎七二一三二八一

学生の皆さん

親元を離れて生活する大学生などの住所は、実際に住んでいるアパートや寮などで、転出する前に転出届をして下さい。また、大学生など、村外に住所がある学生が、一時的に帰省し、自動車学校へ入校する場合は、わざわざ村内に住所を移す必要はありません。自動車学校へは、現住所(アパートや寮)の住民票があれば入校できます。卒業後に現住所管内の運転免許試験場で学科試験をうければよいわけです。運転免許取得の理由で一時的に転入届はしないで下さい。

加入しましょう

農業者年金

このような方は必ず農業者年金に加入しましょう。

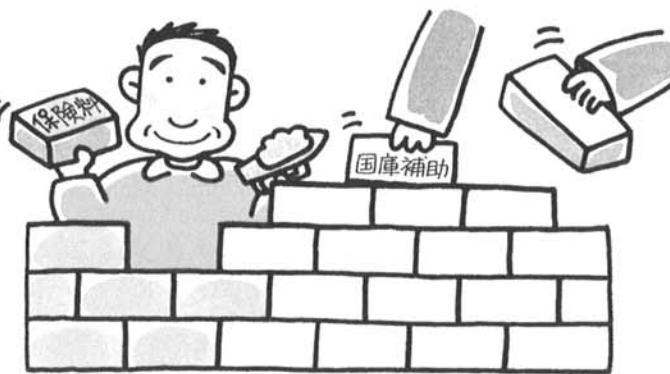
自分名義の農地等が五十アール以上の経営主は当然加入です。又、三十アール以上五十アール未満の経営主は任意加入者です。いずれも国民年金加入者の方です。経営移譲を受けた人、若い農業後継者、四十歳以上の人でも四十、五歳までの加入期限切れの近い人、

二十年以上の加入期間には次の期間が含まれます。(カラ期間)

①サラリーマン期間のうち農業に従事していた五年以内の期間(厚年加入等) ②死亡した配偶者の保険料納付期間 ③出稼きの期間等の年金をもらうのに必要な資格期間に含められます。

早く加入するほど有利です。

年金額は保険料を納めた月数で決まります。例えば三十歳加入で支払保険料総額一、四九六万円、受取年金額で七、三七八万円、四十加入で支払保険料総額一、二一七万円、受取年金額で四、九一八万円です。(六五歳から八十歳までの受給期間の試算です。)



備えましょう。

物価上昇に強い年金です。

民間の個人年金や国民年金基金などない物価スライド及び所得スライド制があります。高率の国庫補助があり、又民間の保険や年金等で事務等が保険料に含まれておりますが、農業者年金の場合には全額国が負担しています。国が責任をもって運営しておりますので安心して加入できる年金です。

女性電気教室生徒募集案内

- ◆期 間……4月～12月(毎月第2木曜日)
- ◆会 場……東北電力株式会社燕営業所
3F電気教室
- ◆時 間……19:00～20:30
- ◆対 象……女性の方
- ◆募集人員……25名(定員になり次第締め切らせていただきます。)
- ◆参加料……無料
- ◆内 容……一部をご紹介します。
【電気の基本知識】
ボルト・アンペア・ワットなど、学生時代に戻ってちょっと思い出してみてください。
【電子レンジの上手な使い方】
使いこなしていますか?電子レンジ。早くて

おいしい電子レンジの使い方を覚えていただきます。

【修理実習】

ちょっとした故障、なんとか自分でも直せたら便利ですね。

【料理講習会】

現代はいろいろな調理器具があります。使いこなして食生活をグレードアップしませんか。

【施設見学など】

原子力発電所など、めったに見れない所をご覧いただきます。

◆申込み期限……3月13日(金)

◆申込み場所……東北電力株式会社燕営業所

お客さまサービス課

☎(0256)63-3151